観聚和泉だより

観聚学舎　狛江市立狛江第一小学校
７月号　　令和３年６月３０日発行
http://www.komae.ed.jp/ele/01/

日々の楽しみ

校長　川﨑　貴志

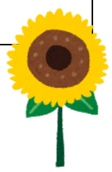
出勤すると、昇降口前で少し早めに登校して来た子供たちと会話をすることが毎日の習慣になっています。「今日は暑くなりそうだね。」「もうそろそろ半そでかな。」など、何気ないお天気の話題から会話をすることを楽しんでいます。

ここのところの会話のブームは専ら、昇降口付近で蛹になったモンシロチョウの動向です。今、昇降口前のキャベツが植わったプランターから、幼虫がいろいろな場所に移動し、次々と蛹になり、羽化しています。中には、上手く羽化できず、羽がくしゃくしゃになったチョウがいます。それでも、なんとか生きてもらいたいとの思いで、花弁の中にそっと移動させる子がいます。扉のガラスで蛹になった幼虫がいます。いたずらをしたり、触れたりしないようにと注意書きのポスターを手作りし、蛹の横に掲示する子がいます。そんな優しさにあふれた一小の子供たちの姿を見るたびに、日々、心が和まされています。

さて、今年度も早、７月を迎えました。新型コロナウイルスの終息は、依然として見いだせない状況にあります。活動の一部には制限はあるものの、昨年度のような休校や分散登校といった対応もなく、1学期を終えることができそうです。「新しい学校の生活様式」も定着し、以前よりは遥にコロナのストレスも減った中で子供たちは日々の学校生活を過ごすことができました。これも、ご家庭でのご協力もあってこそと、感謝いたします。ありがとうございました。残り 15 日の 1 学期の生活をしっかりと締めくくり、2 学期へと繋げていきたいと思います。

７月行事予定

１日（木）避難訓練・なかよし班遊び 委員会	１０日（土）土曜授業・土曜時程 （※公開はありません。） セーフティ教室（1、2、3年）
２日（金）読書月間終・保護者会（１、２年）	１２日（月）午前授業・セーフティ教室（６年）
５日（月）保護者会（４年）	１３日（火）保護者会（いずみ）
６日（火）保護者会（３年） 水辺の学校（４年）	１５日（木）歯科検診（1、3、6年） 保護者会（６年）
７日（水）特別時程午前授業 あいとぴあプール（いずみ）	１６日（金）大掃除
８日（木）クラブ・耳鼻科検診（1、3、6年） 保護者会（５年）	１９日（月）特別時程・午前授業・給食終
	２０日（火）特別時程・午前授業・終業式



※行事予定は感染症状況により変更の可能性があります。本校 HP にてご確認ください。

７月の生活指導

７月の生活指導目標　『学校をきれいにしよう』

学校には、共同で使う物が多くあります。次の人が使うことを考えて整理整頓すること、物を丁寧に使うことなどを日常の活動で指導しています。現在、本校では児童による一斉清掃の時間は設けていません。これまで以上に自分の身の周りの整理整頓を心がけ、教室、階段、廊下など公衆の場を大切に使えるよう指導しています。

さて、６月をふり返ってみると、記名のない落し物が多かったようです。消しゴム、鉛筆、ハンカチ、ランチョンマット入れ…等々、再度お子さんの持ち物の記名の確認をお願いします。自分の持ち物に愛着をもち、大切に長く使おうとする姿勢を養う第一歩です。

早いもので、７月は夏休みを迎えます。家庭で過ごす時間が多くなり、自転車に乗る機会も増えると思います。令和２年度の自転車乗車中の死者数のうち、約８割は頭部損傷が主因となっているとのことです。東京都の自転車に関する条例においては、保護者は「１８歳未満の自転車利用者にヘルメットを着用させる」という努力義務が規定されています。安全で楽しい夏休みを過ごさせるよう、御協力ください。

登校時刻

登校時間を８時 15 分から８時 30 分としていますが、それまでに登校して中庭や校庭で待っているお子さんがいます。これからの時期は、校庭や中庭には日陰がなく、熱中症になることが心配されます。お子さんが校庭や中庭で待機しなくてもよい時刻に家を出発できるようにお声掛けください。子供たちが安心・安全に過ごせますよう、引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

教育相談員の勤務日

相談に関しては、本校養護教諭までお願い致します。出勤日等については学校ホームページでご確認ください。

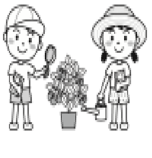
校内研究

昨今､各メディアを中心にＳＤＧs という言葉を聞きます。「持続可能な社会づくり」学校教育でもこの部分が注目されています。子供達が大人になるころ、今からは想像できない未来が来ると考えられます。予想できない未来の中で大切なのは、自分の力、自分の考えで行動する力です。学校という、多様な集団との関係を作れる場所で、他者と協力し、それぞれの考えをぶつけ合い、課題を解決する喜びを味わう。

先生や親に言われたレールに乗ることが全てではなく、自分の力で道を切り開く、そんな子供達の姿が学年を選ばず、多くの教室から見えることが本年度の校内研究の目指すべき姿です。

そんな未来を見据えた教育のことを ESD（education for sustainable development）と呼びます。

上記の研究を進める一環として、今年度より、従来の総合的な学習の時間を「いっしょうタイム」と呼ぶようにしました。地域教材を中心に子供達が学習を探究していく時間です。総合的な学習の時間はで、子供ならではの自由な発想を学びにつなげていき、学習内容をご家庭にも持ち帰り自ら学習に取り組む姿を目指していきたいと思っています。

２年生

生活科で『あさがお』を育てています。ただ育てるのではなく『マリーゴールド』と比べながら観察しています。「同じ植物なのに種の形が全然違うね。」「どちらも双葉があるよ。」等、似ている点・違う点を見付けています。また、国語の『観察名人』という学習で、野菜を育てています。「先生、なすがしおれてしまってる！」「ミニトマトの花の後に実ができるんだ。」気付きがいっぱいでてきました。水をやり忘れて、あさがおに謝っている子もいました。植物にも命があることをしっかり理解しています。